

## ○生徒に聞いてみた★

第一回考査までおよそ2週間となりました。1年生にとっては、高校の授業に慣れてきたところで、初の考査です。2、3年生は、進路に直結する重要な考査ととらえていると思います。今回は、これまでの考査で優秀な成績を収めてきた生徒に、「テスト勉強をする際のスタイルや授業での取り組み」について聞いてみました。

### 学年・取材結果

3年生・HK さん 教科書を何回も読み返して、自分で問題形式の文章を作る。暗記教科はマインドマップで図視すると、私は覚えやすい。特に、仕組みやつながりが理解できないものはマインドマップが向いている。長時間集中力が持たないので、時間を決めて取り組む。(1時間→5分周知休憩→1時間→…)

3年生・SR さん 正直、あんまり勉強しない。授業中はできるだけ集中して覚える。すぐわかることも、聞いてはおいて、わからないことをしっかり覚える。テスト前日はさすがにテスト範囲を音読して、印刷しておいたプリントを再び解く。ワークがある教科は、直接書き込まずに残しておいて、テスト前にやっている。

3年生・OS さん 理系の科目はワークが大体存在するので、わかるまで解く。教科書の問題も何回でも書いて解く。文系科目はノートとかにまとめて勉強するし、理系科目は問題を解いて勉強することが多い。

3年生・TA さん 自分にやる気を出すために、推しのもを何かご褒美に親に頼んでおく。「平均 85 点いたら〇〇〇買ってくれない？」みたいに。すごくやる気が出る。親に頼むのは2週間前には頼まないと色々難しい。

3年生・KC さん 英語は単語や熟語が大事なので、Quizlet というアプリで勉強する。単語カードでも勉強できるし、テストも自分で作れる。わからない英語は音も確認して復習する。週末課題で扱ったものは大体書けるようになっているので、覚えることを優先している。

3年生・MYさん 英語で自主学习ノートを作っている。各 Lesson の表現で大事なものを自分でピックアップして赤シートで勉強できるように英文や、意味のまとめりで書いてまとめる。指示語(it や that など)もメモをして復習できるようにしておく。Q&Aも自分で答えを考えるようにしている。教科書、プリントを基本として勉強している。

3年生・SI さん 発音、音読をたくさんする。声に出すと覚えやすい。わからないことはすぐに調べて、スマホのメモなどにどんどんためていく。見返して勉強する。英語は文を作って勉強もする。

3年生・SY さん 授業で、先生からわかりやすい例え話があったら、それもメモしておく。印象にも記憶にも残るし、思い出しやすい。気になったことやわからないことはノートにまとめて、記憶、理解しやすいようにする。覚えられない単語などは出てきた文そのもので覚えてしまう。

2年生・HH さん ワークを使ってたくさん復習。テスト前に一気に詰め込んで短期記憶でクリアー。授業でやったことは家に帰ったらすぐに復習。やった範囲のワークの問題を白紙ノートにやる。テスト前の追い込みでワークに書き込み。

2年生 OI さん 英語のワークブックの右のページ(訳が中心のもの)をやる。単語・熟語は週末課題のスペルが長いものとか、熟語を何回も書いて覚える。TF とかも何回もやる。数学も何回も解いて覚える。何回もやらないと覚えなから。

2年生・KY さん 思ったことや調べてわかったこと、わからないことを青ペンで付箋に書いてノートに足していく。テスト前に要点をまとめて本みたいにする(ルーズリーフたくさん使うので)。赤シートで大事なところを書いておいて、テスト前に何度も解く。

2年生・KH さん ひたすら書いて勉強する。英語で大事なところは赤ペンで書いて印象付ける。説明も自分で書き加えておく。覚えるために単語を書きまくる。

2年生・OY さん 勉強はノートにめっちゃ書いて覚える。わからない問題があるページはそのページで全問正解するまでひたすら順番に書いて解く。ちゃんと丸つけをしてページを3周すれば大体は覚えられる。この勉強用のノートに、教科関係なくどんどん書いていく。字だらけ。綺麗にやるのは時間に余裕がある時だけで、テスト前などは字でびっしりになってもお構いなしで解いて丸つけする。テスト2週間前くらいから始めている。

2年生・KMさん 難しいと思う科目(去年は化学基礎、今年は物理基礎)は Youtube で動画を探して勉強する。授業でわからなかったことを自分でまとめて復習する。書くのは、中途半端に使ったノートとかにしている。テスト前 1 ヶ月くらいから始めている。各教科で考査前になると配られる学習プリントにも集中して取り組む。

2年生・SMさん 数学は授業でもらったプリントを全問正解するまで何度でもとく。一問でも間違えたらやり直しにしている。まずは同じ問題ができるようになったら解き方は OK だと思っている。英語はワークの右側(日本語訳も、文法も)オレンジのペンで解いて、赤シートで何度でも取り組めるようにしておく。何回も解くし、英文を読んだりもする。

KY先生(学生期) 勉強し始めないとやる気が出ないので、教科書をノートに写すだけでもやる気が出てくる。後はやる気のままに問題を解いていく。スタートが全て。

AT先生(学生期) 数学一とどんどん問題集を進める。授業でわからないことを聞けるように予習。国語一文の構造を落とし込むようにノートにまとめ直す。社会一登下校の時間を使って教科書を暗記。今日は○ページ、と決めて、まずは音読して、後は頭の中で反復。英語一例文を覚えて単語や熟語を覚える。参考書で問題を解く。

SM先生(学生期) 国語(古典)は文法を覚えるために何度も繰り返し問題を解く。理科・社会・数学は一問一答の問題集で解く→間違いチェック→間違えたものだけもう一度→再び全部解く→間違いチェック→を繰り返す。

TY先生(学生期) 授業で先生が話していることはどんどんメモ。板書と先生のコメントはノートの別な場所にメモ(線を引いて分けていた)。大事なことは色ペンやマーカーで目立つように。先生の言葉に集中。試験前は自分のノートをコピーして、大事なところを修正テープで消して問題集にしていた。

SK先生(学生期) 数学は簡単な問題から初めて徐々に調子を上げていく。社会はワークをひたすら解いて覚えていく。基本的に既存のもので勉強していた。授業ではメモをしっかりと取っていた。友達との教え合いで覚えたことが忘れにくくなった。部活があったので普段はあまり勉強しなかったのが、部活休みになってから集中して勉強した。

想像以上に生徒はスタイルやこだわりを持っていました。これが高校で成績を伸ばしたり、キープしたりしている理由なのかと思えます。話を聞いていると、堂々と語ってくれる方が多くて、「自己肯定感の高さ」を感じました。だからこそ、自分のスタイルで根強く学習を続けられるのだと思います。さらに進路活動についても、しっかりとした取り組みができる生徒たちだと思います。

## ○高校での学びと将来

この文章を読んでいただいているみなさん、「高校での学び」は何のためにあると思いますか???

「高校での勉強は進路達成のため」「単位を取るために勉強」「はずかしくないように勉強」「親に迷惑をかけないために」「勉強は、しなければいけないものだから」、といろいろあるかと思えます。考え方、とらえ方は千差万別かと思えます。以下、いろいろな方から聞いた「学ぶこと」への考え方・とらえ方です。

### ～「学ぶこと」への考え方・とらえ方～

- ・将来に選択肢を残すために、**今何ができるか？それを考えるのと、試すのが今。**
- ・『**頭がいい**』=『**脳のいい状態**』。目の前の問題が簡単に解決できるし、未来を楽しく創り出していくことができる。すっきりと気分もいい。そんな状態のときをどんどん増やしていくにはどうしたらいいか？
- ・**勉強は自分を広げてくれる。**損はしない。何かのときに自分が培ってきた力を活用して、強く生きていけるようになる。
- ・『**学校の一員としてやっていく**』=『**社会という場で生きていくための練習、予行演習**』
- ・受験は**戦略・戦術を考えよう**。自分にあったやり方だと疲れない。自分らしい戦術は一生使える。
- ・中高生というのは、『**好きなこと**』と『**やらなければいけないこと=勉強**』の狭間で苦しむことが多い時期。好きではないこともやるから、好きなことがいっそう楽しくなる。ならば、やってみよう。
- ・**思う存分取り組んだことが成功体験として自分の中に残っていく。**自分の中にゾーンと呼ばれる没頭感覚があるから、成功の回路ができる。スポーツ場面で体験した生徒はいるかもしれない。勉強でも体験を。

岩高生には、**広い視野を持ち、得意なものを楽しみ、苦手なものに立ち向かい、自分の人生に前向きに取り組んでほしい**ものです。高校での考査や学校生活での成長と変化に期待します。

### ●次回のトピック：「考査後は？」